

2025年3月期 決算説明資料

2024年4月～2025年3月（第196期）

2025年 4月 28日

日本車輛製造株式会社

目次

1. 2025年3月期 連結決算の概要
 - (1) 業績の概要
 - (2) セグメント別業績
2. 2026年3月期 連結通期業績見通し

業績の概要（2025年3月期）

売上：鉄道車両事業、建設機械事業、輸送用機器・鉄構事業の増収により、全体として増収

利益：建設機械事業、輸送用機器・鉄構事業の増益により、全体として増益

（単位：億円）

	前期	当期	増減	前期比
売上高	880	963	+82	+9.4%
営業利益	60	69	+8	+14.4%
経常利益	63	72	+9	+15.7%
（売上高経常利益率）	（7.2%）	（7.6%）	（+0.4%）	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	64	+10	+19.2%

セグメント別業績（2025年3月期）

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	前期	当期	増減	前期	当期	増減
鉄道車両	406	447	+41	27	27	△0
建設機械	212	228	+16	37	42	+4
輸送用機器・鉄構	184	221	+37	9	18	+8
エンジニアリング	77	65	△11	△2	△8	△5
その他/調整額	0	0	△0	△11	△10	+1
合計	880	963	+82	60	69	+8

※ 「調整額」は、セグメントに帰属しない一般管理費、セグメント間取引消去などを含んでいる

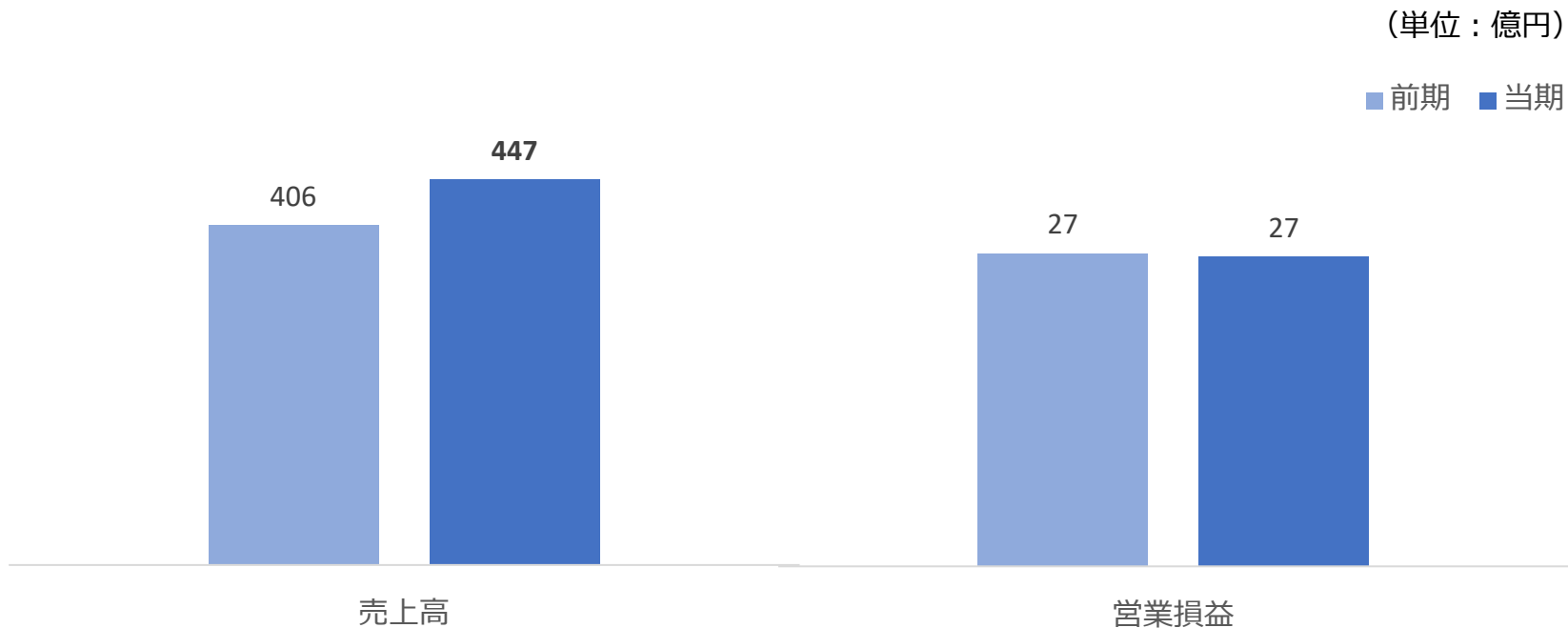
鉄道車両事業

<売上高>

- J R東海向け及びJ R西日本向けN 7 0 0 S新幹線電車やJ R東海向け3 1 5系電車、東京都交通局向け電車、名古屋鉄道向け電車などの売上があり、公営・民営鉄道向け車両の売上が増加したことなどにより増収。

<営業損益>

- 売上案件の製品構成群の変化により、利益は前年並み。



建設機械事業

<売上高>

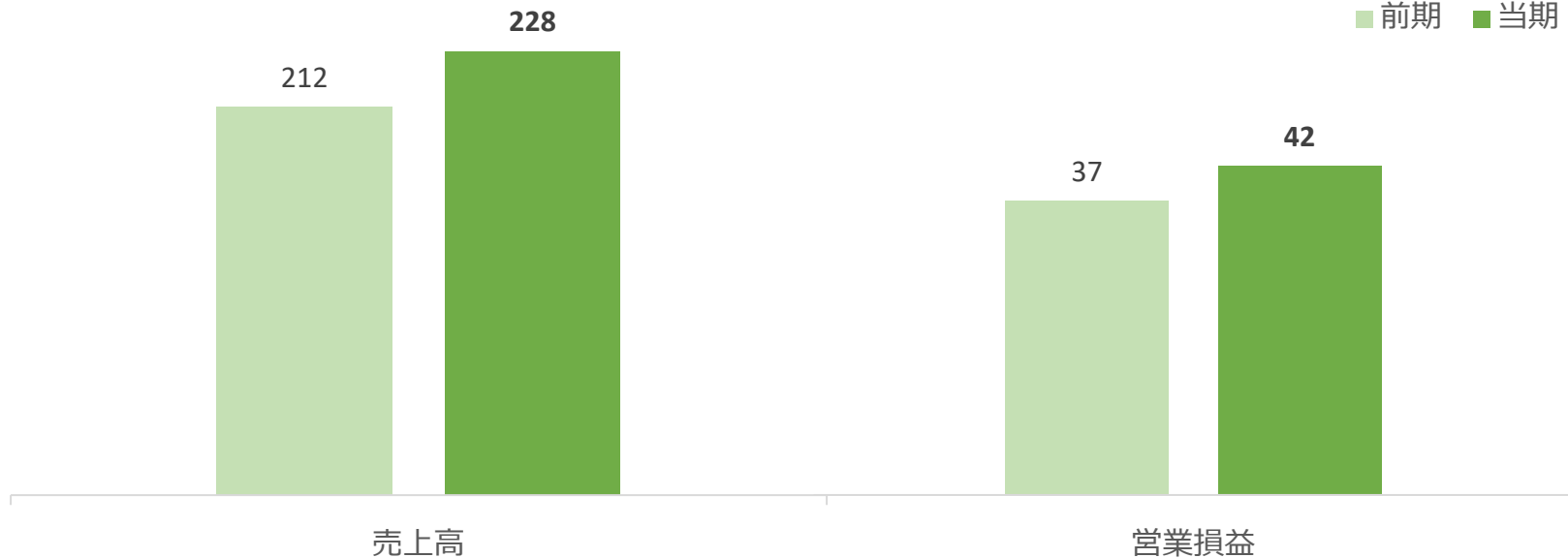
- 大型杭打機、小型杭打機、全回転チュービング装置などの売上があり、国内向け大型杭打機や部品等の売上が増加したことなどにより増収。

<営業損益>

- 増収により増益。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



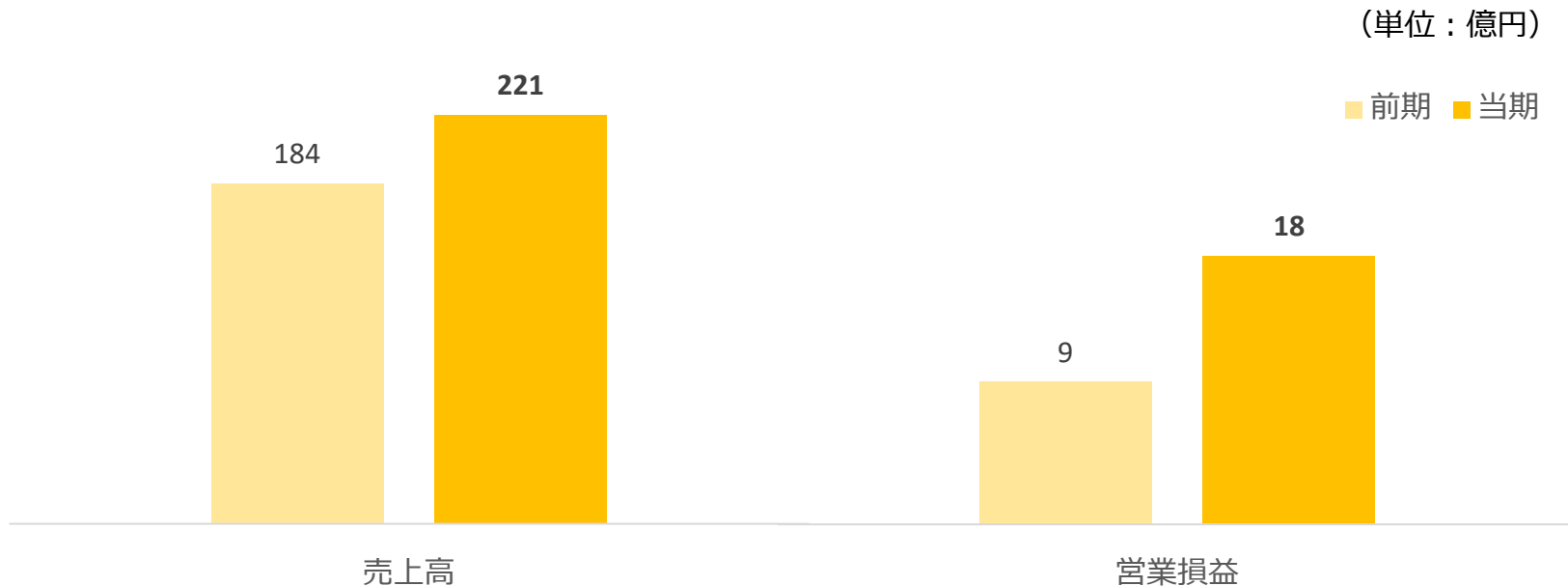
輸送用機器・鉄構事業

<売上高>

- 輸送用機器は、民生用バルクローリ、大型自走式キャリア、無人搬送装置、貨車などの売上があり、LNGタンクトレーラの売上が増加したことなどにより増収。
- 鉄構は、圏央道飯沼川高架橋、佐世保道路須崎橋、東海環状自動車道養老IC本線橋などの売上があり、道路橋の売上が増加したことなどにより増収。

<営業損益>

- 増収に加えて、個別案件の利益が改善し増益。



エンジニアリング事業

<売上高>

- 鉄道事業者向け機械設備のほか、各地のJ A向け営農プラント、家庭紙メーカー向け製造設備などの売上があり、鉄道事業者向け機械設備の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

- 減収に加えて、個別の案件で損失を引き当てたことなどにより赤字。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



2026年3月期 連結通期業績見通し

2025年3月期との比較

売上高：鉄道車両事業の増収の一方で、建設機械事業、輸送用機器・鉄構事業及びエンジニアリング事業の減収により、減収となる見通し

利益：主に建設機械事業で減益となることから、全体として減益となる見通し

(単位：億円)

科目	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (業績見通し)	増減	前期比
売上高	963	930	△33	△3.5%
営業利益	69	56	△13	△19.3%
経常利益	72	59	△13	△19.2%
(売上高経常利益率)	(7.6%)	(6.3%)	(△1.3%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	64	59	△5	△8.0%

配当について

- 2025年3月期の期末配当については、期首に公表した配当予想1株当たり15円を5円増配し、20円とする（年間35円）。
- 2026年3月期の配当予想についても、中間・期末ともに1株当たり20円とする（年間40円）。

日本車両

※本資料の業績見通しに記載されている将来の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。